

シリーズ⑥4 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡下さい。



発起人のみなさん



藤本さん・坪さんより

門前通りから笠間を考える会は、緩やかな集まりです。会則も会長も存在しません。発起人たちが皆で責任を持ち事務局として会を運営しています。我々の集まりに関心を持った方誰もが参加可能です。

不定期ですが「門前通り通信」を発行しています。門前通りの各店舗に置いていますので、ぜひ、ご覧ください。

会員も募集していますので、ビデオに興味のある方、特に若い方の入会をお待ちしています。

《問合せ》

藤本 090-3548-2597

誰もが笠間を想い、考え、無理をしないで行動できる集まりをめざして

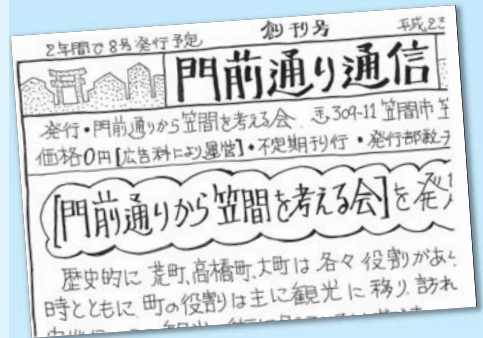
例年、笠間稲荷門前通りには、多くの観光客が訪れ、笠間の顔として位置づけられています。そして、この門前通りで受けた印象は、笠間全体の評価につながってきます。

近年、笠間を訪れる観光客が少なくなりつつあり、それに危機感を持ち責任を感じた門前通りの有志たちが集まり、街を考え話し合う場を作りました。まず、自分たちが勉強することが必要だと考え、テーマを「観光」に設定し、自ら講師を探し、多くの市民にも呼びかけて会費制での講演会を開催しました。

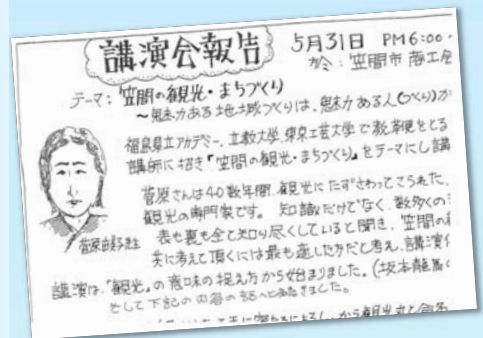
そこで学んだことは「観光客の目線をもつ必要性」でした。その目線で街を眺めてみると、多くのことが見え始めました。そのひとつは、稲荷仲見世入り口のポケットパークや街路灯の錆でした。まず、無理をしないで、できることからの行動ということで、界隈の人にも呼びかけ、錆を落としペンキ塗りから始めることになりました。

■ 門前通りから笠間を考える会 ■

代表者 ^{あかつ} 坪 ^{かずひこ} 一彦 (笠間)
^{ふじもと} 藤本 ^{ひとし} 均 (来栖)
 設立 平成23年3月
 会員 笠間に関心あるすべての人



門前通り通信 その1



門前通り通信 その2



門前通りイラスト



ポケットパークの塗装